

学校通信

2022年 1月17日
みやこ町立豊津中学校
校長 吉田 武志

2022年は穏やかな天候のもと迎えました。年末はコロナウイルス感染も少なく、街に賑わいが戻ってきたように見えました。離れて暮らす家族と久しぶりに会えた方も多かったのではないのでしょうか。天候のように“穏やかな日常”のありがたさを実感した正月でした。しかし状況は一変し、感染が急拡大しています。今回の第6波はこれまでと違い感染スピードが速く、毎夕に発表される感染者数に驚かされるばかりです。医療での対応や社会での行動制限などが新たに求められると思いますが、私たちができることは三密回避や手洗い・マスクなどの予防と、もし体調の異常を感じたらすぐに医療機関へ受診、感染で不安な状況の人への理解と思いやりを持った対応です。20日(木)は暦の上では「大寒」です。厳しい寒さが続きますが、「冬来たりなば、春遠からじ」です。世の中も厳しい状況が続いていますが、きっと希望の未来が訪れます。



オンラインによる始業式を行いました

12月の終業式と1月の始業式を、教室に配置しているマックスハブを使いオンラインで実施しました。昨年からの方式で集会や教室間交流を幾度と行ってきましたが、プレゼンテーションソフトを使った資料提示などを活用でき、効果を感じています。各教室では、集中して講話を聴いてくれています。

11日(火)の始業式で話した内容を掲載します。

(略)3学期は一番短い学期です。ただし、この学期はまとめの学期であり、この短い期間になすべきことは山ほどあります。特に3年生は自分の将来の進路決定という人生で重大な時期を迎えようとしています。試験勉強、受験本番、可否の発表。その都度置かれた状況で全力を出し、受け止め、何度も自分の心のギアを入れ直していかなければなりません。

以前この時期のある新聞に皆さんと同世代の人の投書が載っていましたので、一部を紹介します。「・・・人生は積み木のようなのだ。積み木はどんどん自分の力で積み上げないと、そこまでの高さのものしかできません。だから、人生も1個ずつ1個ずつ、丁寧に積み上げていきたいものです。私もその途中にいるのだと思っています。しかし、ここで手を抜いて勉強しないと、受験に失敗し、その積み木は崩れてしまいます。・・・春、



2学期終業式

今の自分よりも、遥かに高くなった心の積み木と一緒に、満面の笑みで、この中学校を卒業したいと思っています」と。内容から中学3年生の投書だと分かります。1, 2年生の皆さんにも当てはまることだと思います。1, 2年は新たな学年、3年生は進路に向けて、積み木を1つ1つ積み上げていく仕上げの時期です。この中学生のように本校生徒一人一人が自分の未来、人生のために卒業式まで、修了式まで、1個ずつ1個ずつ、丁寧に積み上げていってくれることを期待して始業式のあいさつとします。

3年生の受験が始まりました

入試が始まります。これから2か月間にわたり、それぞれが自分の進路を目指し入試に臨みます。公立は県下一斉ですが、私立は幾つかの日程に分かれています。

1月18日	私立推薦入試	柳ヶ浦(大分)
21日	私立推薦・専願入試	高陵、東筑紫学園、福智、東福岡
2月1日	私立一般入試	豊国学園、慶成、九国大附属、福智
2日	私立一般入試	飯塚、真颯館、美萩野女子
3日	私立一般入試	東筑紫学園、東九州龍谷(大分)
7日	公立推薦入試	福岡県立高校
3月8日	公立一般入試	福岡県立高校

(本校生徒受験分)

3年生の教室では、受験に行った友を気遣い、自分の進路実現を目指して机に向かう日々が続きます。試験に臨むのは個人ですが、公立一般の受験の日まで学年全体で乗り越える“団体戦”です。全員で合格を勝ち取ろう!

新生徒会の始動です



12月の改選で選出された新生徒会執行部の皆さんに、今後の抱負を寄稿していただきました。

私は生徒会長として、学校行事を盛り上げるために意見を出し、生徒の皆さんが積極的に参加できる行事を創っていきたく思います。(生徒会長)

副会長として、明るく元気な学校を創っていくために、率先してあいさつをしていきたく思います。そして会長のサポートも全力で頑張ります。(副会長)

生徒の皆さんの意見を意見ボックスを通して聴き、皆さんが学校を楽しみにしてくれる学校づくりを代表して創っていこうと思います。(副会長)

書記として会長や副会長を支え、生徒の見本となる行動をしたいとします。また、元気なあいさつで明るい学校に出来るように頑張ります。(書記)

年齢問わず、先生、先輩、同級生にあいさつを元気よくして、学校の皆さんに気持ちのいい朝を送れるように頑張っていきます。(書記)